

2025. 8. 27

北九州市教職員組合にゅうす



「8・6平和のつどい」開催される！その2

テーマ 「あれから80年^{いま} 現在、そしてこれから…～いま私たちにできることは～」

参加者からのメッセージのつづきです。

○改めて歴史と向き合うことが平和につながると感じました。歴史はただの過去ではない。私たちは悲劇のその先に生きている。暗い過去と向き合うことが、今を平和に生きることができる私たちの責任なのだと思います。今一度、平和に生きていることがどういうことなのか深く考えなければならぬと思います。(20代の参加者からのメッセージ)

○今回初めて参加しました。今日の内容を私たちは決して忘れてはいけないことだし、知って次の世代に伝えなければいけないことだと思います。私は現在中学校の教員をしています。平和の学習を7月に行います。学習の中で今日の戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えていきたいです。(20代の参加者からのメッセージ)

○今回で3回目の参加になりました。私たち世代にもっとこの86平和の集いを、戦争のことを知ってほしいと思いました。話を聞いてどれも怖い内容ばかりでしたが、それを聞かない知らないことの方がもっと怖いことだと痛感しました。(20代の参加者からのメッセージ)



○今回初めて参加させていただきました。改めて戦争の悲惨さや怖さを思い知りました。この国がしてきたことに目をそむけず、しっかりと向き合い事実を児童に教えていきたいと強く思いました。そして戦争のことを語り繋いでいきたいとおもいます。(20代の参加者からのメッセージ)

○平和というのは傍観や願いだけではなく自分たちの手で手繰り寄せて離さないことが大切だと気づきました。平和以外にもずっと続けていくのは簡単ではないんだと実感しました。戦争を経験した人たちが経験をしていない若い世代に伝えることは戦争への抑止力につながるのだと思います。(20代の参加者からのメッセージ)

【創作朗読劇に出てくる子どもたちと先生について】

最初に登場人物として考えるときに、それぞれのキャラクター（性格や趣味）を考えて、名前もつけてデビューさせているのですが、なんと作中では一度も名前が出てきていません。お互いに呼び合うことも、先生に呼ばれることもない、裏設定となっております。（ちなみに先生は『先生』です。）とはいえ、出演者の中では、名前と性格が定着しつつあり、楽屋ではそれぞれのキャラクターにちなんで、「今年のしゅんくん、ちょっとおとなしいね？」「話題の重さを感じ取って、なかなか言えんのよ。」「でも本音が出てるともあるよね」「うん。つい出た。」「かこちゃんって、毎年人の話きいてないよね。」「でも、なかなかいいことも言いよるよ」というような会話が繰り広げられています。登場する子どもたちも先生も、中身は成長途中ですので、今後の活躍に乞うご期待!! ★☆創作朗読劇では、毎年出演者大募集中です☆★



NO.24につづく

わからないこと・困ったことがあったら…

何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

